

～ネパール地震被災支援のご報告と ミャンマー・北東インド洪水被災支援募金のお願い～

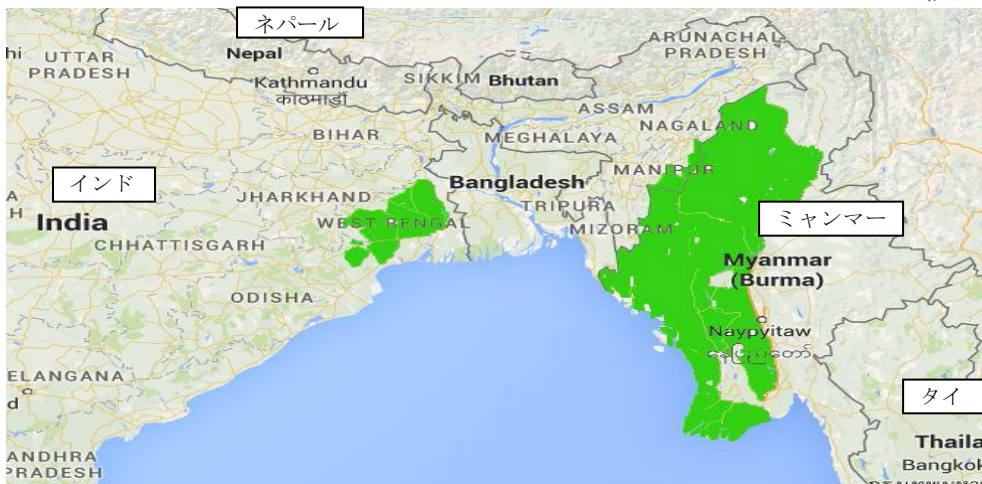
主のみ名を賛美いたします。

4月24日に起こったネパール地震後の支援を覚えて、お祈りと献金をありがとうございます。ネパール地震被災支援については、アジア太平洋バプテスト連合救援機関（APBAid）が、ネパールバプテスト教会協議会（NBCC）の一部門である「多目的共同体構築支援機構（MCDS）」と相談して支援計画を立て、そこに連盟の募金がいわれていく順序となっています。適切に募金を用いるためご努力頂いている APBAid の働きにも感謝しています。ネパール地震募金は8月末をもって500万円をAPBAidに送金します。

さて、報道はほとんどされておりませんが、APBAidより北東インドとミャンマーで起こったサイクロンによる大規模な洪水被害について第一報が届きました。7月下旬にサイクロン「コメン」がインドのベンガル地方を襲い、その雨がミャンマー14州の内9州と、隣接する北東インドで深刻な洪水と土砂崩れを引き起こしました。この影響でミャンマーでは24万世帯105万人以上が被災し、死者は1000人を越え（8月11日付）、インドでも180万人以上が被災し5600の村々が被災しました。APBAidに加盟するミャンマーバプテスト連盟も即時支援にあたっており、支援計画（1170万円規模）を取りまとめ国内外に支援の要請をしています。それに応え、災害引当金から50万円をAPBAidを通してお送りしました。つきましては、**9月末までミャンマー・北東インド洪水支援募金**を行います。覚えて祈り、お献げいただければ幸いです。

このような緊急の事態に対応するため、常に災害引当金が必要となります。締め切りを過ぎてさげられた募金はこの基金に貯えさせていただき、これからも緊急支援のために用いて参ります。

（文：井形英絵 国外伝道室長）



▲救出の状況



▲屋根まで迫る洪水



▲避難する人々

- 送金先 郵便振替
- 加入者 宗教法人日本バプテスト連盟総務部 00140-9-180881
- ※必ず通信欄に「ミャンマー洪水」と明記して下さい
- 募金期間 2015年9月末まで

